



発行所
〒107-0052
東京都港区赤坂7丁目
5番38号
公益社団法人
日本PTA全国協議会
発行人 清水 敬介
電話 03(5545)7151
FAX 03(5545)7152
ホームページアドレス
<http://www.nippon-pta.or.jp/>

綱領

本会は、教育を本旨とし、特定の政党や宗教に偏ることなく、小学校及び中学校におけるPTA活動を通して、我が国における社会教育及び家庭教育の充実に努めるとともに、家庭、学校、地域の連携を深め、子どもたちの健全育成と福祉の増進を図り、もって社会の発展に寄与する。

主な内容

- 1・2面
○令和3年度定時総会・研修会
- 3面
○公益目的事業推進室会議活動報告
○令和3年度会議予定
- 4面
○第69回日本PTA全国研究大会北九州大会
- 5面
○第43回全国小・中学校PTA広報紙コンクール審査結果
○令和3年度「楽しい子育てキャンペーン」三行詩選考結果
- 6面
○令和の日本型教育
○GIGAスクール構想
○子どもたちの安心・安全な生活に関する要望書
- 7面
○協議会活動紹介
- 8面
○見つけてください！「日本PTA推薦マーク」
○書籍案内



令和3年度定時総会・研修会

令和3年度定時総会が、TKPガーデンシティPREMIUM池袋において行われました。新型コロナウイルス感染症収束がまだ見えない中、感染拡大防止対策のため、現地参加とリモート参加のハイブリッド方式を採用し、昨年度の臨時総会に引き続き新しい形での総会開催となりました。会場においては、消毒や換気、間隔をあけての着席等、感染予防対策を万全に取りながら、文部科学副大臣の丹羽秀樹様をはじめ教育関係

各位にご来賓としてご臨席いただき、賑々しく行われました。



本紙は各校PTAに、「校長・教頭用」、「PTA会長・役員・広報委員用」、「事務局員用」を目安に配布しています。



公益社団法人日本PTA全国協議会
会長 清水 敬介



「いそごわ」
昨年度引き続き会長を拝命いたしました。どうぞよろしくお願いたします。
コロナ禍において私たちの毎日はこれまでとは違う生活様式に様変わりしてしまいました。子ども達の学びの環境も、全国のPTA活動も、従来とは違う形となり、感染させない為に多くの方々が様々に苦慮されていること推察します。
日本PTAとしても、昨年度の経験を踏まえてはいるものの引き続き例年とは違う形での活動を余儀なくされております。しかし、去る8月21日に開催した全国研究大会北九州大会での取り組みのよりに、このような事態だからこそ、全国の会員の皆様へ歩みを止めない活動を発信し、文部科学省をは

祝辞

文部科学副大臣

丹羽 秀樹様



令和3年度 公益社団法人日本PTA全国協議会の定時総会の開催に

当たり、一言御挨拶申し上げます。貴協議会におかれては、日頃からPTA活動を通じ、学校・家庭・地域の架け橋として、子供たちの健全育成に御尽力いただいておりますことに、深く敬意を表します。
また、新型コロナウイルス感染症への対応として、大変な御努力と創意工夫の下、PTA活動における新型コロナウイルス感染症対策の作成や周知など、様々な取組が進められていることに対して、感謝申し上げます。
我が国は、人生100年時代やSociety5.0の到来等、社会が大きく

変革する中にあります。昨年十一月には、貴協議会をはじめとする教育関係二十三団体の連絡会である「子どもたちの豊かな育ちと学びを支援する教育関係団体連絡会」において、「少人数学級の実現と学校における働き方改革の推進等を求めるアピール」が採択され、令和2年度年次表彰式において、清水会長より、萩生田文部科学大臣へその御提言を手交していただきました。そのような各方面からの力強い後押しをいただき、文部科学省では、一人一台端末の導入など「GIGAスクール構想」の

2面へ続く

じめ教育関係団体との連携を更に深め、有益な情報を新たな手法も交えながら提供できるよう努めてまいります。
また、本年度は全国組織という存在価値をより積極的に打ち出したいと考えます。これまで以上に会員全ての方々に、寄り添い、近い存在であり続けることをお誓いするとともに、スケールメリットを生かした活動を展開し広くお伝えすることで、より日本PTAとの関係を近く感じていただければと思います。
日本最大の社会教育関係団体として、全国の会員の皆様の為、そして大切な子どもたちの未来のために、令和3年度も邁進いたします。

実現と、その効果を最大化する少人数級の計画的な実施を車の両輪として進めるとともに、多様なスタッフの活用等による働き方改革に取り組んでいるところであります。

また、子供を取り巻く環境が多様化・複雑化する中、学校のみならず社会総掛かりでの教育を実現することが必要となつていきます。皆様におかれましては、PTA活動のリーダーとして、コミュニティ・スクールや地域学校協働本部などと連携し、学校・家庭・地域の連携・協働を牽引いただくとともに、学校教育の良き理解者として、今後とも、御理解とお力添えをいただきますようお願いいたします。

結びに、公益社団法人日本PTA全国協議会のますますの御発展と、皆様の一層の御活躍を祈念申し上げ、私の挨拶といたします。

定時総会

令和3年6月25日(金)

議案は、現地では起立にて、オンライン出席者には挙手にて表決を取り、第1号議案「令和2年度事業報告」、第2号議案「令和2年収支決算について」、第3号議案「定款の変更について」、第4号議案「理事及び監事の選任について」の全てを承認いただきました。

また、総会宣言が決議され、新旧役員よりご挨拶をさせていただいた後、令和2年度にて退任する役員及び協議会代表者の皆様に感謝状をお渡ししました。

新たな形での対応となりましたが、スムーズな進行にご協力いただき無

事総会を終えることができました。ありがとうございました。



退任代表者に感謝状をお渡し

研修会

令和3年6月25日(金)

定時総会終了後、協議会代表者を対象とした研修会が実施されました。

(1) 公益社団法人について

東川顧問より、公益社団法人について意味・役割・責任等について解説。

(2) 日本PTAの組織、公益事業等について

清水会長より、日本PTA全国協議会の令和3年度の組織のあり方と、公益事業の目的と意味について解説。

(3) 公益目的事業推進室会議について

大島前常務理事(公益目的事業推進室担当)より、活動内容と目的について解説。

(4) 令和3年度諮問会議について

北川議長より、諮問機関の役割とこれまでの活動報告及び今年度の予定について解説。

(5) 令和2年度諮問会議 社会教育・初等中等教育問題WGの活動について

東川顧問より、社会教育や初

等中等教育について今日的な課題ととらえる内容の解説とともに、今年2月に中央教育審議会から出された答申をわかりやすく解説した動画を視聴し、今後の展開について解説。



7月諸会議について

令和3年7月13日(火)

ホテル東京ガーデンパレスにおいて、約1年半ぶりに、全国より協議会代表者の皆様にお集まりいただき会議を開催しました。現地開催を基本としながらリモート参加への対応も行ったため、加盟の64協議会全てからご参加いただくことができました。

また例年は協議会事務局長の皆様にもお越しいただき連絡会を開催しますが、会場の収容人数が感染症対策として通常より大幅に少ないため、事務局長の皆様にはリモートでのご入室をお願いし、代表者会兼連絡会として開催しました。

公益目的事業推進室会議

昨年度より始まった、代表者の皆様方に日Pの公益事業により関わっていただくための「公益目的事業推

進室」を推進室ごとに分かれて開催しました。直接会って話をするのが初めての方が多く、協議会ごとの事業の情報提供もされ通常より話し合いに幅が出たという声が多く上がりました。

ブロック協議会会長会

今年度のブロック研究大会の開催状況の確認をしました。昨年度は開催そのものを中止したブロックが多かったのですが、今年度は現地集合とオンラインを組み合わせた、いわゆる「ハイブリッド型」での実施を前向きに検討するブロックも多く、学びを止めない姿勢が伺えました。

協議会代表者会兼連絡会

会議に先立ち、行政説明をいただきました。1. 「GIGAスクール構想の実現について」

文部科学省初中局情報教育振興室室長補佐 大塚 和明様

2. 「主権者教育の推進について」

文部科学省地域学習推進課青少年教育室室長補佐 山本 健司様

3. 「国立青少年教育施設におけるPTA活動と体験活動の重要性」

独立行政法人国立青少年教育振興機構理事 伊野 巨様

続いて協議会代表者会が開催され、清水会長の挨拶の後、研修として、「社会教育委員について」として、日本PTA全国協議会 第37代会長、寺本充様より講義をいただきました。

協議会代表者会議議題として

(1) ブロック協議会会長会より報告(9ブロック長)

(2) 公益目的事業推進室長より報告(4室長)

(3) 第69回日本PTA全国大会北九州大会報告

以上3つの議題の確認がなされ、その後連絡事項が周知され閉会となりました。

令和3年度 公益社団法人日本PTA全国協議会 理事

役職	氏名	都道府県
会長	清水 敬介	名古屋市
副会長	佐藤 博之	山形県
副会長	本江 学	富山県
副会長	山田 洋子	広島県
副会長	江田 明弘	佐賀県
専務理事	金田 淳	栃木県
常務理事	青羽 章仁	さいたま市
理事	吉村 昌之	秋田県
理事	船橋 吾一	山形県
理事	比嘉 里奈	埼玉県
理事	宮本 隆司	大阪市
理事	三浦 国英	神戸市
理事	熊木 勉	愛媛県
理事	三浦 隆史	北九州市
理事	村崎 一英	熊本県

公益目的事業推進室会議活動報告

昨年度に続き、公益法人として行う目的事業において、64の協議会代表者が直接かかわり推進する「公益目的事業推進室」を設置しました。協議会代表者自らが事業を推進することにより、日本PTAの活動のへ理解がより深まり、協議会内での活動・運営の醸成にもつながると考えています。

全国大会推進室

室長 本江 学

公益社団法人日本PTA全国協議会では、公益目的事業の一つとしての全国研究大会を実施するにあたり、毎年、開催地の協議会と連携しながら取り組んでおります。今までは、開催地の協議会から企画書が上程され、三役会・理事会で協議し、実施にいたるといような流れで進めてまいりました。



2023年開催地の広島へ委託状

大会から大会へと、よりつなごうの深いものになると考えております。

調査研究推進室

室長 宮本 隆司

調査研究推進室では、子どもたちの健全育成及び福祉の増進のため、子どもを取り巻く社会環境に関する調査研究や教育改革についての保護者の意識調査、組織、財政、教育、環境、厚生等に関する調査研究を実施することによって、新しい時代の要請にこたえるPTAのあり方や課題解決のための方策を探求し、そこで得られた成果としての情報を提供する事に取り組んでいます。

表彰及び国内研修・国際交流推進室

室長 村崎 一英

当推進室では、PTA広報紙コンクールと「楽しい子育て全国キャンペーン」三行詩の作品募集を行い、各審査と優秀作品への表彰を行っています。また、PTA活動の資質向上及び活性化のため、顕著な業績を上げたPTA、その他団体や個人を顕彰する年次表彰式を開催するため、昨年度の開催実績を元に更なる感染予防対策を検討し、実施に向け準備を進めています。国内研修・国際交流事業に向けては、「国際社会で活躍できる次代を担う人材を育成するため、子どもを対象とする諸外国との国際交流や研修を実施すること」を目的とし、研修場所、参加人数、研修プログラムの内容まで昨年同様新たに検討や協議を行っています。コロナ禍の影響を受け、子どもたちの大切な体験や経験の機会が失われており、当協議会の国内研修・国際交流事業も2年に渡り中止を余儀なくされています。これからの日本を牽引するリーダーを育成するための貴重な事業であることから、推進室メンバーとしてもこれからの未来を見据え、更なる目的の追求を行ってまいります。

広報及び教育支援助成推進室

室長 吉村 昌之

当室は、2名の担当役員と2名のアドバイザーを含め、24名で活動しております。公益目的事業の(公4)広報事業と(公6)教育支援助成事業が合併し、1つの室になっております。事業内容は、次の通りです。①日P新聞を担当する日P

新聞グループ(岡野リーダー)では、年2回の発行と今日的な課題や行政や関係団体との折衝などを盛り込んだ新たな取り組みを実施します。②HP担当のWEBグループ(後藤リーダー)では、HPのリニューアルと継続的な運用方法の調査・検証を実施します。③まるごと！教育テキスト活用方法を担当するテキストグループ(塚本リーダー)では、テキストの有効活用のための調査・研究、結果発表を行います。④教育支援助成担当の教育支援助成グループ(太田リーダー)では、全国各地で発生する様々な災害に対応する全国組織のスキルメントを活かした災害ネットワークシステムの整備と有効な活用を検討します。さらにこれらの事業は、各推進室とも連携を図り活動してまいります。



7月13日はハイブリットにて会議開催

公益社団法人日本PTA全国協議会 令和3年度会議予定

月日	会議名等
6月25日(金)	定期総会
9月15日(水)	三役会
10月6日(水)	三役会
10月20日(水)	三役会・理事会
11月5日(金)	協議会・代表者会
11月19日(金)	三役会
11月19日(金)	事務連絡会
11月19日(金)	年次表彰式
12月9日(木)	全国大会引継会
12月22日(木)	三役会
12月22日(木)	中間監査(全国大会会計監査含む)
令和4年	
1月13日(木)	三役会
1月14日(金)	三役会
1月14日(金)	理事会
2月9日(水)	三役会
2月16日(水)	三役会
2月16日(水)	理事会
2月17日(木)	ブロック協議会会長会
2月17日(木)	公益目的事業推進室会議
2月17日(木)	臨時総会
2月17日(木)	協議会代表者会
3月16日(水)	全国大会会計期末監査
3月16日(水)	三役会
3月16日(水)	三役会
5月18日(水)	三役会
5月18日(水)	期末監査
5月19日(木)	三役会
5月19日(木)	理事会
5月19日(木)	ブロック協議会会長会
5月19日(木)	公益目的事業推進室会議
5月19日(木)	協議会代表者会
6月24日(金)	三役会
6月24日(金)	理事会
6月24日(金)	定時総会
6月24日(金)	懇親会
6月24日(金)	研修会
6月24日(金)	委員長連絡会・新三役会



第69回 日本PTA全国研究大会北九州大会

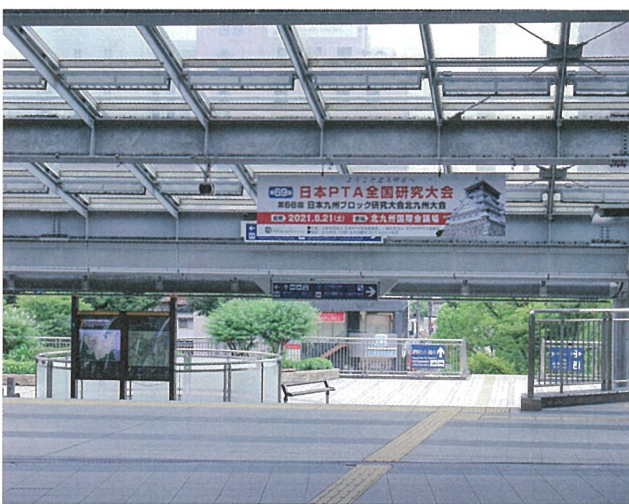
令和新時代におけるPTA活動の可能性と未来像について



本州と海を挟んだ九州の玄関口に位置する北九州市において第69回日本PTA全国研究大会北九州大会、第66回九州ブロック研究大会北九州大会が「じりつ、創造、尊重、調和、そして成長」をテーマとし、オンライン開催となりました。

新型コロナウイルスの感染拡大の影響によりやむなく中止を余儀無くされた第68回日本PTA全国研究大会富山大会実行委員会の熱い思いを、北九州市が引継ぐべく北九州大会実行委員会を立ち上げ、「コロナ禍の中で準備を進め開催する特別な大会」「学びを止めないためにも開催する」「コロナ禍の中での工夫を取り入れた開催方法を模索する」という方向性を確認し会議を重ね準備をまいりました。

当初は4000人の現地参加とオンライン参加を想定しハイブリット開催での大会を予定していました。しかしながら新型コロナウイルス感染症の影響により完全オンライン開催という決断に至りました。



これは日本PTA全国研究大会としては初となるオンライン開催となりました。

新型コロナウイルスの感染拡大の状況に鑑み1日開催とし、分科会は3つのテーマに置き換え元文部科学省初等中等教育局教育課程課長現内閣府合田哲雄氏、元大阪市立大空小学校初代校長木村泰子氏、元千代田区麹町中学校校長工藤勇一氏をはじめ全国の先生や保護者を迎え事前収録を行いました。全体会では事前収録の3つのテーマを基にファシリテータに西田二郎氏を迎え、地元北九州市出身で5児の父親でもある、つるの剛士氏、合言葉は「We are シンセキー」のレモンさん(山本シユウ氏)、私立立花高等学校校長齋藤眞人氏、教育と探求社代表取締役社長宮地寛治氏、NPO法人EUGO「代表理事村上綾野氏、北九州市立子ども図書館長河村信孝氏、日本PTA全国協議会顧問東川勝哉氏の7人が意見を交わすスペシャルトークセッションという形で執り行われました。



テーマ会に出演したEXERTからは「PTAは先生と子どもたちをつなぐ卵だ、教育はハンバーグだ。」と言うユーモラスな発言もあり、出演者から「一人ひとりみんなが当事者」「子どもの数だけチャンスがある」「PTAは学びの場」「魂を輝かして生きる」「PTAのトランスフォーメーションが起きている」などのこれからのPTAの担う役割について語られました。

今大会は協議会の会長や役員のみならずPTA会員となった方も、どこからでも参加可能な大会となりました。人を超えての視聴参加となりました。またアーカイブとして6か月間見逃し配信によりさらに多くの方が視聴できるスタイルとなりました。

当日を迎える数日前から全国各地で豪雨災害が発生、新型コロナウイルスの爆発的感染拡大など次々と困難に見舞われる中、北九州市から新たな学びの機会を全国へ発信することができ、次期開催地山形県へ大会旗と思いが引き継がれました。

第70回 日本PTA全国研究大会山形大会

令和4年(2022)年

分科会 **8月26日(金)** 全体会 **8月27日(土)**

PTA 2022 in YAMAGATA

日本PTA全国研究大会開催地及び開催予定地

回	年度	開催ブロック (開催地)
71	2023年	中国・四国 広島県
72	2024年	関東・東京 川崎市
73	2025年	東海北陸 石川県
74	2026年	近畿 奈良県
75	2027年	九州 (調整中)
76	2028年	北海道・東北 (調整中)

第43回 全国小・中学校PTA広報紙コンクール審査結果

本コンクールは、日本PTA全国協議会に所属する公立小・中学校で発行するPTA広報紙作品を広く募集し、優秀作品を表彰・公開することにより、PTA広報活動の活発化を促進し、PTA活動の一助となることを目的に開催をしています。応募総数は、小学校

2299点、中学校1232点、小中一貫校6点、合計3537点でした。本年度は、コロナ禍の影響を受けPTA活動も自粛を余儀なくされていた状況を考慮し、募集対象の変更を行い実施いたしました。集まった広報紙は、様々な創意工夫と子どもた

ちの明るい表情が掲載された素晴らしい作品ばかりでした。優秀作品は、令和3年11月19日開催の年次表彰式にて表彰を行います。また、入賞作品は日本PTA新聞及び日本教育新聞に掲載予定、受賞作品は「第43回優秀広報紙集」として発刊予定です。



賞	小学校PTAの部	中学校PTAの部
文部科学大臣賞	熊本県大津町立美咲野小学校PTA	福島県福島市立飯野中学校父母と教師の会
日本PTA全国協議会会長賞	さいたま市立上落合小学校PTA	札幌市立厚別中学校父母と先生の会
	福井県福井市円山小学校PTA	大阪府豊中市立庄内さくら学園中学校PTA
	鳥取県大山町立名和小学校PTA	鳥根県安来市立第一中学校PTA
日本教育新聞社社長賞	神奈川県中郡大磯町立大磯小学校PTA	仙台市立第一中学校師親会
	熊本市立御幸小学校PTA	富山大学人間発達科学部附属中学校PTA
	沖縄県那覇市立真嘉比小学校PTA	沖縄県浦添市立浦添中学校PTA
教育家庭新聞社社長賞	埼玉県杉戸町立杉戸第三小学校PTA	東京都渋谷区立渋谷本町学園PTA
	岐阜県岐阜市立長森東小学校PTA	奈良県川西町・三宅町式下中学校組合式下中学校PTA
企画賞	沖縄県那覇市立さつき小学校PTA	大阪市立野田中学校PTA
写真賞	埼玉県春日部市立武里南小学校PTA	熊本県南阿蘇村立南阿蘇中学校PTA
レイアウト賞	岐阜県岐阜市立鏡島小学校PTA	大阪府豊中市立第十一中学校PTA
佳作	北海道北見市立南小学校PTA	群馬県伊勢崎市立あずま中学校PTA
	宮城県富谷市立日吉台小学校PTA	さいたま市立西原中学校PTA
	東京都北区立桐ヶ丘郷小学校PTA	埼玉大学教育学部附属中学校父母と教師の会
	神奈川県茅ヶ崎市立緑が浜小学校P.G.T.	富山県射水市立大門中学校PTA
	横浜市立富士見台小学校PTA	鳥取県三朝町立三朝中学校PTA
	京都府宇治市立菟道第二小学校育友会	香川県高松市立勝賀中学校PTA
	岡山県備前市立日生西小学校PTA	香川県高松市立桜町中学校PTA
	長崎県佐世保市立猪調小学校PTA	福岡市立博多中学校父母教師会
	大分県大分市立明治小学校PTA	宮崎県日南市立油津中学校PTA
	鹿児島県鹿屋市立南小学校PTA	宮崎県宮崎市立宮崎西中学校PTA

令和3年度 「楽しい子育てキャンペーン」 「家族で話そう！わが家のルール家族のきずな・命の大切さ」三行詩選考結果

毎年、家族の会話やコミュニケーションから育まれるきずなや家庭のルール、「早寝早起き朝ごはん」といった基本的な生活習慣づくりなどの家庭教育の大切さや命の大切さについて、家族で話し合い一緒に取り組むことの重要性を呼び掛けていくため、これらをテーマとする「三行詩」を募集し、表彰を行っています。今年度は、小学生の部67487点、中学生の部

45532点、一般の部6869点、合計119888点の応募があり、「コロナ禍で生まれた新しい生活様式の中での各家庭のルールや、家族のきずなを改めて大切に思う作品が数多く見られました。優秀作品には表彰状の贈呈を行うとともに、可愛らしいイラストを添えたカレンダーを作成、発行いたします。多くの皆様に見ていただき、それをきっかけに



令和2年度入賞作品より

文部科学大臣賞

小学生の部 宮城県 秋山 寛太
生んでくれてありがとう。
最初にお母さんからもったプレゼントは名前。
お母さん本当にありがとう。

中学生の部 徳島県 木南 咲来
減ってしまった父との会話
二人きりで将来を語る塾帰りの20分間
いつも送迎ありがとう

一般の部 愛知県 海原 信之
おにごっこ
「どうちゃん本気で走ってよ！」
もう本気で走ってるよ…(涙)

厚生労働大臣賞

小学生の部 山形県 レイニンング 快里
コロナ太りで母といっしょにランニング。
朝は父も参戦。
新たにできた家族の時間。

文部科学大臣賞

小学生の部 北海道 木下 大翔
おとうとよ、
ゲームはいいから、
俺と遊べ。

一般の部 さいたま市 神山 陽子
「早く大きくなれ大きくなれ」と
唱えてきたけれど
今はゆつくりあの日のあなたを
抱っこしたい

小学生の部 埼玉県 酒井 大希
朝は、ばたばた。
昼は、ばらばら。
夜は、みんなでばっかばか。

厚生労働大臣賞

中学生の部 新潟県 小日向 優
部活で疲れて家着けば
待っているのは山盛りごはん
母よ、さすがに多すぎる

文部科学大臣賞

一般の部 栃木県 郷間 賢一
食事中、スマホを見てみると、
「パパ今何やってたの？」
妻より恐い娘の眼。

小学生の部 静岡県 広瀬 美優
さらいな野菜を入れないで
わが家のシェフは容赦なし

中学生の部 埼玉県 齊藤 菜
登校中
弟と会い両手で大きく手を振る弟
それを私も小さく返す

厚生労働大臣賞

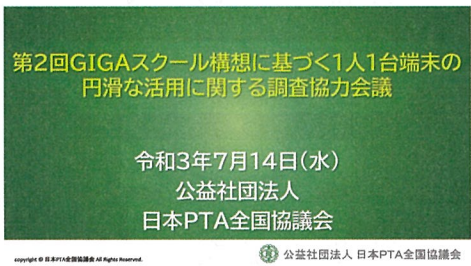
一般の部 岩手県 黒川 久美
ママから始まりおかあしちゃん、おかあさん、かあさんと、
節目で変わる呼び方にうれしさと寂しさを交錯する母。
息子と共に成長し、応援し続ける親でありたい。

G I G Aスクール構想

7月14日に開催された「G I G Aスクール構想に基づく1人1台端末の円滑な利活用に関する調査協力者会議」において、保護者の視点よりG I G Aスクール構想についてお伝えしました。

新型コロナウイルス対策として端末を配布されたと思っている保護者が多く、本来の意図が保護者に浸透していない実態はあるものの、ディスレクシア症等の読み書きに困難を抱える子どもを持つ家庭は、導入を待ち望んでいたとお伝えしました。

「家庭と学校との深い連携」「山間地の小規模校においての学びの確保」「英語や算数など特定教科での有効性の発揮」「消極的な児童生徒の発言機会の確保」等、今後の有効活用についてもお伝えしました。



資料公開はこちらから

令和の日本型教育

日本PTA全国協議会の役員は、関係府省庁、関係団体の会議や委員会に参加し、積極的に意見を述べ、又、その議論内容を本会の運営や全国の会員の皆様の活動に資するようフィードバックを行っています。

第10期中央教育審議会では、令和3年1月26日の第127回総会において『「令和の日本型学校教育」の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～(答申)』が取りまとめられました。

我が国の教育の方向性や、家庭や学校の役割など、詳細に記されているものを会員の皆様にご理解、ご活用いただくことを目的とし、この度、日本PTA全国協議会で6分の動画にまとめました。

是非、研修会等で展開していただき、見識を高めていただくことを期待しております。



動画視聴はこちらから

子どもたちの安心・安全な生活に関する要望書を提出しました

今年7月に静岡県熱海市で起きた土石流災害において、被害に遭われた多くの方々やとりわけ学校に通う子どもたちに対していわゆるメディアスクラムが行われ、被害に遭われた方々がよりつらい日々をお過ごしになるという問題が起きました。

また、千葉県四街道市において起きた登校中の子どもたちが無謀運転の車両による事故で亡くなる痛ましい事故の際にも同様にメディアによる過剰とられる取材活動が行われました。

日本PTAにおいては、災害及び事故の当該協議会と連絡を取りながら、民間放送連盟様を通じ各メディアに要望書を提出しました。

また、四街道市の事故については、通学路の安全についてより強い意志で行政の指導・活動を行っていただきたい旨を、文部科学省、警察庁、小都度交通省に提出いたしました。

子どもたちの一層安心・安全な毎日を目指し、今後も加盟協議会及び行政としっかりと手を携えて活動してまいります。

令和3年7月19日

報道関係者 各位

公益社団法人日本PTA全国協議会
会長 清水 敬介

熱海市における土石流災害及び千葉県八街市における交通事故の報道に関する要望書

この度の熱海市における土石流災害は多くの方々被災され、子どもたちは日常生活に戻れない日々が続いております。また、千葉県八街市における交通事故においては、痛ましい事故を目の当たりにし、心に大きな傷を受けた子どもたちに寄り添いながら保護者や地域の方々もつらい日々を過ごしておられます。心身ともに傷つかれた皆様方に心よりお見舞い申し上げます。

そのような状況の中、保護者が立ち会わない場所における、報道関係者とみられる大人からの子どもたちへの声掛けや、学校に向いての取材・報道についての事例報告を受けております。

公益社団法人日本PTA全国協議会は、都道府県・政令指定都市64協議会で構成する、公立小中学校の保護者と教職員約800万人の組織です。子どもたちの健やかな育成と教育環境の向上、社会教育及び家庭教育の充実を目的に活動しております。兼ねてより、民間放送連盟との懇談会等を通じ、「子どもたちへの取材活動の影響」については以下連言申し上げて参りました。重大事件の発生時など、特に社会的関心が高いニュースソースの場合、民間放送各社による子どもたちへの取材行為や報道について、過剰とも思える取材がなされていることがあるとの報告を受けています。「報道の自由」の見地から、取材活動の制限を主張するものではありませんが、過度な取材活動による子どもたちの心身に及ぼす影響や、報道されることによる社会的影響についても十分考慮し、報道倫理に基づき、紳士的な取材活動かつ報道の公平性をたもっていただきたいと考えます。また「教育的配慮」という観点からも、子どもたちの人権が無視されることのないよう集团的過剰取材、いわゆる『メディアスクラム』行為や、取材方法は厳に慎んでいただくよう求めます。

改めて、子どもたちが一日も早く笑顔を取り戻すことができるよう、以下の2点を強く要望します。

- 取材及び報道において、子どもたちの尊厳を守り、心身の健康に充分にご配慮いただきたい。
- 取材及び報道において、学校教育活動に支障が出ないようご配慮いただきたい。

以上、よろしくお願いたします。

令和3年10月15日

文部科学大臣
末松 信介 様

子どもたちの登下校時の安全に関する緊急要望書

公益社団法人日本PTA全国協議会
会長 清水 敬介

令和3年6月28日、千葉県八街市において、下校途中の児童の列にトラックが突っ込み、児童5人が死傷する極めて痛ましい事故が発生いたしました。

子どもたちの日常である学校への登下校において痛ましい事故が繰り返されることは、極めて遺憾であり、絶対に許すことはできません。

事故の起きた地域では、PTAと行政が一体となり、当該道路環境の現状を事故前から把握し改善に取り組んできました。全国的にも、PTA活動としておこなう校外指導・立哨活動や見守り活動などで把握した通学路の危険箇所について、PTAが地域住民と連携し、歩道の拡張やガードレールの設置、横断歩道の新設や舗装部のカラー化といった具体的な環境改善の要望について働きかけていますが、道路環境の改善に至らない事案も少なくないとの情報が聞かれます。

また、この度の八街市における事故の加害者は、飲酒した上で運転をしており、ドライバーとして絶対に許されない行為です。交通ルールの違反者、とりわけ飲酒運転に対する厳罰化及び施策の強化をより一層推進していくことを意識していただきたいと感じます。

全ての子どもたちが安心して学校に通える環境を切に求め、下記の通り要望します。

【要望】

1. 通学路の安全に関する現状把握と改善のため、必要な予算を確保するとともに、具体的な道路環境の改善に向けて速やかに対策を講じていただきたい。
2. 交通ルールの違反者、とりわけ飲酒運転に対する厳罰化及び飲酒運転の防止に向けた施策強化を一層推進していただきたい。
3. 2についての啓発活動を恒常的に行い、広報活動を広く展開していただきたい。

協議会 活動 紹介

日本PTA全国協議会には、都道府県、並びに政令指定都市の64地方協議会が加盟しており、地方協議会ごとに特色ある活動を実地しております。そこで、362号から4つの地方協議会ずつの活動紹介を掲載させていただくこととなり、今回の363号で2回目の紹介となりました。

年2回の新聞に掲載することにより、「日本PTA全国協議会創立80周年」までに64地方協議会の活動紹介が完了する予定です。全国の皆様に情報共有を図ってまいりますので、毎号の地方協議会の活動紹介を心待ちにしていただけたら幸いです。

愛知県小中学校PTA連絡協議会

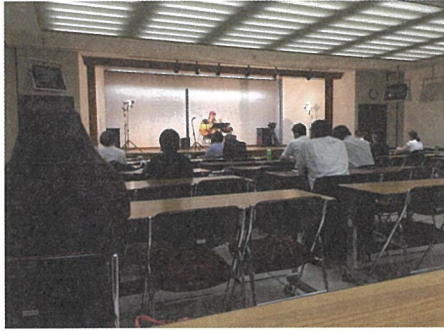
愛知県小中学校PTA連絡協議会は、998単位PTA（名古屋市を除く）・約43万9千人の会員で構成されています。

6月17日に総会を開催する予定でしたが、コロナ禍により2年続けての書面開催となりました。本年度、目標「誇りを胸に 笑顔を繋ぐ」心の輪—耀く未来であるために—を掲げ、3つの活動方針「1 家庭教育力の強化を図る 2 学校支援を積極的に進める 3 地域社会との緊密な連携を築く」を位置づけ、活動に取り組むことが承認されました。

家庭教育の充実を図るための「母親代表・役員・理事による合同研修会」を、7月15日に開催しました。会場参加人数を絞り、多くはオンライン参加する方法を取り入れました。講師の歌を交えた講演は、内容もよく大変参考になるものでした。

今後県下10地区で計画されているPTA情報交換事業は、本年度からPTA指導者研修会と併せて開催することとしました。現況での開催は困難が予想されますが、子どもの健全育成のために、よりよい方法で実施していきたいと考えています。

また、令和6年度の東海北陸ブロックの研究大会開催に向けて、本年度から企画検討会議を開き、準備を始めたところです。



さいたま市PTA協議会

さいたま市PTA協議会は、平成13年に旧3市（浦和市・与野市・大宮市）のブロック体制からスタートしました。平成15年5月に政令指定都市に移行し、区ごとに9つの連合会を再編し、平成17年6月に岩槻市の合併に伴い、10区の連合会体制となり現在に至っております。そして、今年度は創立20周年を迎え、記念式典の開催や記念誌の発刊に取り組んでいるところです。会員校はさいたま市内の165校で、会員数は約9万名で構成されている組織です。



さいたま市PTA協議会の主な事業として、4月に開催する役員研修会、広報紙コンクール、5月の広報紙づくり講習会、7月には役員セミナーを開催しております。

そして、10月開催の教育委員会との交流会や2月開催の教育委員会懇話会などを通して教育委員会との連携をしっかりと築いております。

さいたま市PTA協議会の活動を会員の皆様にお伝えする、協議会広報紙を7月と3月の発刊の他、PTAの役割等を説明するPTAガイドブックを配付しており、協議会の基本方針のひとつである、平和で豊かな社会を目指し、子どもたちの笑顔あふれる環境づくり、地域づくり、未来づくりのために団結して活動を推進しております。

大分県PTA連合会

大分県PTA連合会は昭和23年に結成し、現在の会員数は約73,200世帯、16郡市PTA連合会、357単位PTAで構成されています。

本年度のスローガンを「ともにつながり育て合おう！ 光り輝く地域の宝（こどもたち）のために～PTA（つどい）協育（そだてる）子どもの未来（ゆめ）」とし、家庭・学校・地域の力を一つにし、社会全体で子どもの成長を見守り、子どもたちの輝く未来の為に、健全育成に取り組んでいます。

主な活動として、県P研究大会、指定研究事業（2年間に渡る指定研究の委嘱・公開発表会）の実施。PTA会長研修冊子の発行と研修。全単位PTA会長研修会（今年度は会長経験1年目単P会長対象）の実施。県教育委員会との教育問題懇談会では、互いを教育のパートナーとし、意見交換を行っています。「PTAのすゝめ」の活用推進。「こんにちはPTA」を発刊・全世帯に配布し、PTA活動の理念や意義を伝え、広報紙「はぐく美」を年3回発行、HP等で活動の報告・理解をすすめています。

コロナ禍の中、例年の事業内容を検証しつつ、決して、活動のあゆみを止めることの無いように、感染対策に留意しながら、前進し続けています。



福岡市PTA協議会

福岡市PTA協議会は、全市小学校143、中学校69、特別支援学校8の220単位PTAで構成された組織で、会員数は130,000名を超えています。

令和3年度は節目の第50回の定期総会を開催することができました。昨年に引き続きオンラインでの開催となりましたが、昨年の2倍の会員の方々に参加していただきました。新型コロナウイルス感染症拡大防止という制限のある状況で、「子どもの学びを止めない」「PTAの新しい活動スタイルを模索する」という観点で、単位PTAの活動の継続と活性化を目指したPTA活動活性化推進事業を行い、昨年度は39事業に助成しました。

今年は、単位PTAだけではなく特別支援学校8単位PTAが合同で夏休み期間中に自宅で楽しめるようレクリエーションのYouTube動画を作成し配信することができました。また、昨年度から急速にPTA活動がオンラインで行われている現状で、IT導入は、各単位PTA間で差が出てしまいがちです。リテラシーや安全に利用するためのマニュアルも必要と考え「IT特別委員会」を設置しました。コロナ禍におけるPTAの新しい活動スタイルの一助になればと思います。



令和3年度協賛事業推薦一覧

企業名	商品名
(株)学研プラス	学研まんががよくわかるシリーズ「石川県のひみつ」
(株)学研プラス	学研まんががよくわかるシリーズ特別編「みんなを支える生命保険」
(株)学研プラス	学研まんががよくわかるシリーズ特別編「エキナカのみみつ」
(株)学研プラス	学研まんががよくわかるシリーズ「パスタのみみつ」
(株)学研プラス	学研まんががよくわかるシリーズ「建設機械 提案サービスのひみつ」
(株)学研プラス	学研まんががよくわかるシリーズ「銅のみみつ」
(株)学研プラス	学研まんががよくわかるシリーズ「セメントのみみつ」
(株)学研プラス	学研まんががよくわかるシリーズ「燃料電池自動車のひみつ・新版」
ヤフー(株)	Yahoo! MAP (ios / Android アプリ) 内の防犯マップ機能
(株)マガジンハウス	小児科医のほくが伝えたい 最高の子育て
(株)マガジンハウス	君たちはどう生きるか
(株)マガジンハウス	漫画 君たちはどう生きるか
ショウワノート(株)	ジャポニカ学習帳シリーズ (ジャポニカ、イラスト、フレンド、キャラクター、カスタム)
アルプシステムインテグレーション(株)	InterSafe (フィルタリング及び関連するフィルタリングサービスの提供)
エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ(株)	マイセキュア
エースチャイルド(株)	子どもセキュリティ『Fili (フィリ)』
トレンドマイクロ(株)	ウイルスバスター for Home Network
A I G損害保険(株)	損害保険 (こども総合保険、ベーシック損害保険)
デジタルアーツ(株)	i-フィルター / i-FILTER
パナソニック(株) アプライアンス社	LED照明器具 (LEDシーリングライト)
パナソニック(株) アプライアンス社	LED照明器具 (LEDペンダントライト)
パナソニック(株) アプライアンス社	LED照明器具 (LEDデスクスタンド)
サンスター文具(株)	学習ノート
トレンドマイクロ(株)	ウイルスバスターシリーズ (令和2年秋発売予定新製品及びモバイル端末向け製品を含む)
ジブラルタ生命保険(株)	ベルマーク付生命保険
(株)文藝春秋	文春まんが 読みとくシリーズ ポテトスナック ここが知りたい!
NECプラットフォームズ(株)	Atermシリーズ こども安心ネットタイマー
(株)カスペルスキー	カスペルスキーセキュリティ
(株)学研プラス	学研まんががよくわかるシリーズ特別編「包装のみみつ」
(株)学研プラス	学研まんががよくわかるシリーズ特別編「麒麟のまちのみみつ」
日立グローバルライフソリューションズ(株)	LEDシーリング『まなびのあかり』搭載タイプ
象印マホービン(株)	ステンレススクールポトル、ステンレスポトル
ゼブラ(株)	DelGuard (デルガード)
(株)学研プラス	学研まんががよくわかるシリーズ特別版「ビタミンのひみつ 増補改訂版」
(株)学研プラス	学研まんががよくわかるシリーズ特別版「日本遺産 石の島のみみつ」
(株)学研プラス	学研まんががよくわかるシリーズ特別版「岩手県 北上市のみみつ」



「日本PTA推薦マーク」

見つけてください!

皆さんは街角の本屋さんや家電量販店、ホームページなどで「日本PTA推薦」というマークをご覧になったことはありませんか?

日本PTAでは、協賛事業推薦規程において「児童・生徒等の学校教育、家庭生活上価値が高く、広く利用促進普及させることが適当と認められる事業または物品を協賛し推薦する」と定めています。企業様からご相談があった商品、出版物に対して、所定

の書類をご提出いただいた上で、協賛事業推薦委員会においてサンプルをご提供いただいたりデモを行っていただき、規程に即した商品かどうか審査をしたのちに推薦を決定しています。

推薦は1年ごとに更新で、継続して申請していただくことができるようになっていきます。

昨年度も表のとおり多くの物品を推薦させていただきました。審査過程で役員より意

見を述べることも少なくないですが、企業様の子どもの教育環境についての様々な視点の想いをうかがうことができ、勉強させていただくことも多い事業となっております。

お見かけの際はぜひ手に取っていただき、商品に込められた子どもたちへの思いに触れていただければと思います。



PTAを楽しむための本



Q. 広報紙をより良いものにしたい!!



全国の優秀な広報紙をカラーページで紹介! 広報紙の作り方ページもあります 2021年版の販売が始まりました!

Q. PTAはどんな活動をしているの?



参考になる全国の活動実践事例集です



PTA組織を運営・推進していく上で、参考となる事例を紹介しています。

Q. PTAの始まりや、PTA活動の根拠となる知識についてまとめた資料が欲しい



家庭、学校、地域社会... PTAに関わるそれぞれの場所で必要な基礎知識が丸ごとわかる

¥1,500 (税込) ★PTA会員特別価格



Q. 勉強会・研修会でスマホ・インターネット、家庭教育についてとりあげたい

子どもとメディア、教育に関する意識調査を全国規模で実施 子ども達を取り巻く環境が数字で紐解けます



各¥1,320 (税込)

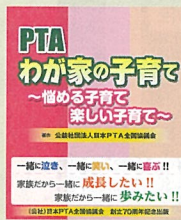
Q. なぜPTA活動をするの? という疑問に答える根拠が欲しい



¥1,500 (税込) ★PTA会員特別価格

社会教育団体としてPTA活動をするうえで、その活動の根拠となる法令・教育史が集約されています

Q. 「しつけ」ということは? Q. 子どもに伝えるべきことは?? Q. 家庭教育ってなにをするの?



¥1,700 (税込) ★PTA会員特別価格

教育の全ての出発点【家庭教育】をテーマに全国から83の事例を掲載。様々な家庭環境の中、涙あり笑いあり学びあり! な奮闘記満載です

Q. Q. Q. そもそもPTAは何をするの? 会長挨拶何を言えばいいの? 文書の作りかたがわからない!



¥1,700 (税込) ★PTA会員特別価格

PTA活動に必要な全ての知識を凝縮! 全ての疑問にお答えします